



〈特集〉

五工業会交流会 2

〈工業会からのお知らせ〉

板金“い・ろ・は”研修会 7

パワーアップ研修会 8

第2回役員会 9

板金図面検定前講習 9

板金“ほ・へ・と”研修会 10
(板金加工概論)

〈トピックス〉

出張セミナーのチラシ 11

事業承継トークセッション 12

〈マイブーム〉

孤独じゃないグルメ 13

〈企業探訪〉

JR九州エンジニアリング株式会社 14

今回の表紙の説明 16

編集後記 16

今後の予定 16

去る2026年6月3日、八百治博多ホテルにおいて、広島・岡山・東四国・愛媛・九州のシートメタル工業会会員36社43名が参加し、「五工業会交流会」が初開催されました。本交流会は、各地域の現状や課題を共有することを目的としています。

第1部 五工業会ディスカッション

開会挨拶

はじめに、九州シートメタル工業会会長である安永修氏より、「広島・岡山・東四国・愛媛の皆様へ九州までお越しいただき感謝申し上げます」と歓迎の言葉が述べられました。また、本交流会の講演テーマであるBCPについて触れ、「自然災害はいつどこで発生するかわからない。万が一の際には五工業会が連携し、助け合える関係を築いていきたい」と力強く語られました。

続いて、(株)アマダ取締役上席執行役員の田所氏より、「本交流会を通じて、板金業界全体が有事の際に協力し合える関係を構築していきたい。また、活発な意見交換を通じて、それぞれの工業会活動の活性化につなげていただきたい」とのご挨拶をいただきました。



安永会長の挨拶



アマダ田所氏の挨拶

各工業会代表による現状報告

岡山シートメタル工業会 加山会長 - 良金工業(株)

岡山シートメタル工業会では、近年会員の参加率が低下し、活動への刺激が不足していることが課題として挙げられました。そのような中、本交流会のような広域的な交流の場を通じて、工業会活動に参加する意義を感じられる組織づくりを進めていきたいとの考えが示されました。



加山会長

広島シートメタル工業会 広畠会長 - (株) 利治鉄工

ナフサやシンナーなどの資材供給が不安定な状況にあることや、自動車業界の動きがやや鈍化している現状について報告がありました。一方で、IT関連や造船関連分野は活発な動きを見せているとのことでした。また、広島シートメタル工業会では青年部が積極的に活動しており、今後はものづくりワールド（関東）や台湾企業への視察も検討していることが紹介されました。



広畠会長

東四国シートメタル工業会 近澤会長 - 竜王金属 (株)

香川県と徳島県で構成される東四国シートメタル工業会は、まもなく設立20周年を迎えます。比較的若い会員が多く、コロナ禍で一時的に活動が停滞したものの、愛媛シートメタル工業会との交流や意見交換を継続してきました。今後は決算書の勉強会なども企画しており、「常に新しい風を取り入れながら活動していきたい」との抱負が語られました。



近澤会長

愛媛シートメタル工業会 門田会長 - (株) 門田鉄工

かつて51社あった会員企業は現在28社まで減少し、コロナ禍では24社まで落ち込んだ時期もあったとの報告がありました。その後、高知県への働きかけなどを行い、会員数の回復に努めているとのこと。 「会員数が少なくなると活発な意見交換の機会も減少するため、今後も会員拡大に取り組みたい。他県の成功事例も積極的に参考にしたい」と述べられました。



門田会長

九州シートメタル工業会 田名部副会長 - (株) SANMATSU

半導体関連の仕事が大きく増加しており、体感としてはほぼ倍増しているとの報告がありました。一方で、自動車関連業界についてはやや厳しい状況が続いているとの見体が見られました。また、九州シートメタル工業会は来年30周年を迎えることから、「従来型のセミナーだけでなく、AIなどの新技術分野も積極的に取り入れていきたい」と語られ、30周年事業への参加も呼びかけられました。



田名部副会長

第2部 BCP講演会

企業講演

演題「泥まみれのリアルから学ぶ、真のBCP」

講師 九州シートメタル工業会 会長 安永修様

第2部では、九州シートメタル工業会会長であり、(株)ヤスナガ代表取締役の安永修氏による講演会が行われました。

講演では、平成24年7月の九州北部豪雨で実際に自社が被災した体験をもとに、災害の現実と事業継続の要点が語られました。

豪雨による甚大な被害と復旧の基本方針

福岡県柳川市にある同社は立地上の影響で大規模な浸水被害を受け、主要設備のほぼすべてが水没。被害額は2億円を超え、工場機能は完全に停止しました。しかし、早朝に臨時休業を決断していたため人的被害を回避できたことが救いとなりました。水道も使えない過酷な環境下で、同社は「安全確保」「泥の掻き出し」「感謝の徹底」「顧客への誠実な対応」の4つを基本方針に掲げ、全社一丸で復旧を進めました。

風評被害への対応とリスク管理

被災のわずか1ヶ月前にBCP策定の過程で保険内容を見直し、水害補償を追加していたことが復旧の大きな支えとなりました。また、設備の被害だけでなく、根拠のない噂の拡散といった二次被害にも直面しましたが、予定通り賞与を支給することで企業の健全性を示し、不安の払拭に努めました。

人の絆と平時からの備え

復旧を支えたのは全国から駆け付けた取引先や業界の仲間たちであり、安永会長は「会社を救ってくれた戦友」と感謝を語られました。最後に「想定外は必ず起こるが、事前の準備がなければ緊急時の判断すら遅れる。最も大切なのは『何とかしなければならぬ』という気持ちを持ち続けることだ」と強調し、講演を締めくくられました。



行政講演

演題「災害時にも事業を止めないために」

事業継続力強化計画活用法と事例で学ぶBCP

講師 九州経済産業局 事業継続力強化係長 杉本綾美様

九州経済産業局 事業継続力強化担当 篠崎柊太様

講演では、自然災害やサイバー攻撃のリスクが年々高まる中、事業継続計画（BCP）の重要性について解説いただきました。業務停止期間が長引くほど取引先の減少につながる傾向があり、BCPを策定している企業では復旧期間が大幅に短縮されるケースも多いとのことでした。

また、BCPが整備されていれば、仮に経営者と連絡が取れない状況でも社員が計画に沿って行動できるため、初動対応の迅速化につながると説明されました。さらに、自治体によっては事業継続力強化計画の認定取得を補助金要件としている場合もあり、認定企業の半数以上が「被害軽減に効果があった」と回答しているとの紹介がありました。

九州経済産業局ではBCP策定支援を無料で実施しており、中小企業基盤整備機構のホームページには「BCPのはじめの一步」が掲載されています。水災・地震・サイバー攻撃などの事例も紹介されており、初めて取り組む企業にも参考になる内容とのことでした。

最後に、自社の備えを定期的に確認するためのチェックリスト作成の重要性について説明いただきました。



講演会の様子

第3部 懇親会

講演終了後は会場を移し、「日本料理 てら岡」にて懇親会を開催しました。

九州シートメタル工業会 鶴元副会長の乾杯のご発声で開宴し、各工業会の参加者同士が親睦を深めながら活発な情報交換を行いました。終始和やかな雰囲気の中で交流が進み、最後は九州シートメタル工業会 山本部長による笑いあふれる中締め挨拶により閉会となりました。



鶴元副会長の乾杯



懇親会の様子

今回の交流会を通じて、各地域の課題や取り組みを共有するとともに、災害時に支え合うネットワークの重要性を改めて認識する機会となりました。

広島・岡山・東四国・愛媛シートメタル工業会の皆様、ご参加いただき誠にありがとうございました。今後も五工業会交流会を継続し、相互の発展と連携強化につなげてまいりたいと思います。



ヤスナガ様工場見学



田名部製作所様工場見学



親睦ゴルフ集合写真



シートメタル工業会 中四国九州五工業会交流会

2026年6月3日 於：八百治博多ホテル

五工業会交流会集合写真

〈八祥産業(株) 原田 直輝〉



≡ 板金“い・ろ・は”研修会のメイン研修を実施いたしました ≡

令和8年5月12日(火)・13日(水)の2日間、新社会人を対象とした「板金“い・ろ・は”研修会」のメイン研修を実施し、5社11名にご参加いただきました。

当研修会は、社会人としての心構えやコミュニケーションの大切さ、会社と学校の違い、伝えることの難しさ、名刺交換のマナー、さらには板金業界の位置づけまで、多岐にわたるテーマで構成されています。

1日目

受講者の自己紹介から始まり、他の受講者や講師からの質問に回答。その後、社会人としての心構えや職務行動についての説明を受けました。続いて「日常行動の自己評価」（雑用を率先して行えているか、同じ間違いを繰り返していないか、優先順位を整理できているか等）を行い、グループ討議を実施。身につけるべきマナーの学習と自己改善目標(宿題)の提示をもって、1日目のプログラムを終了しました。



研修会の様子



お辞儀の練習



お互いにエール交換

2日目

1日目の宿題発表と講師によるアドバイスからスタートしました。続く講義「モノ作りは技術者の意欲と知識経験で結果は変わる」では、板金加工製品や加工工程の概要を解説。さらに「仕事への心構えと姿勢」の講習を通じ、プロとして自ら成長する義務と責任があること、仕事に取り組む基本を学びました。最後に、社会人としての行動変革を誓う「社長への手紙」を執筆し、メイン研修を締めくくりました。

本研修会は、10月14日のフォロー研修第1回、令和9年2月16日のフォロー研修第2回を合わせた全4日間(約10ヶ月間)にわたって行われます。講師からは「メイン研修からフォロー研修第2回にかけての、受講者の気持ちや仕事に取り組む姿勢の変化を見守るために重要な期間である」との言葉に、受講者の皆様が真摯に耳を傾ける姿が印象的でした。



パワーアップ研修会のメイン研修を実施いたしました

令和8年5月25日(月)と26日(火)の2日間にかけて、パワーアップ研修会の「メイン研修」を4社5名にて実施いたしました。

会員企業の管理監督者、中堅社員を対象とする当研修会では、目指すべき「リーダー像と役割」、そしてその役割を全うするために必要な「知識・能力」や「コミュニケーション手法」について多角的に学びます。

研修1日目には、リーダーとしての責任や部下のやる気を高めるアプローチ方法、相互理解を深めるコミュニケーションの大切さについて講義と対話を通じて理解を深めました。

2日目には、業務の事前準備や段取りの重要性を学ぶ「タイムトライアル演習」や、動画を活用した作業の細分化・無駄の発見手法などを体験学習し、現場改善に必要な実践的視点を養いました。

受講者は今後、それぞれの職場に戻って日常業務の中に潜む課題や無駄の洗い出し・改善活動を実践し、後日開催されるフォロー研修にてその取り組み成果を発表する予定です。



研修会の様子



恒例のトランプ並べ



トランプ並べに鈴木先生も参加

受講者の感想文から抜粋

- 指示や指導を出す際は、単に作業手順を伝えるだけでなく、その趣旨や目的をしっかりと説明し、お互いの認識にズレがないか確認し合うことの大切さを再認識しました。
- 個人としての実務能力だけでなく、チーム全体を見渡してメンバー一人ひとりの強みや特性を活かし、前向きに育成・指導していく姿勢が求められていると実感しました。
- 条件や手順を変えることで作業時間が大幅に短縮される「タイムトライアル」や「VTRを使った無駄取り演習」を通じて、日常の当たり前の中に潜む改善のヒントを具体的に体感できました。
- 自分一人で抱え込んで改善を図るのではなく、周囲の意見をしっかりと聴きながらチーム全体を巻き込んで課題解決を進めることが、互いの成長にも繋がると学びました。
- グループワークや発言を通して、他の受講生がそれぞれ異なる悩みや工夫を持ちながら仕事に誇りを持って取り組んでいることを知り、大変良い刺激を受けました。視野を広く持ち、学んだ知識を自社での実践に活かしていきたいです。

令和8年度 第2回役員会 実施報告

令和8年7月2日(木)、TKP博多駅筑紫口ビジネスセンターにて第2回役員会を実施いたしました。会議では各部会・委員会より活動状況と今後の方針が共有されたほか、30周年記念事業に向けた協議が行われました。

冒頭の会長挨拶では、先日の五工業会交流会へのお礼とともに、30周年記念事業の体制構築に向けた方針が示されました。

総務部会からは、定期総会・懇親会の収支報告に加え、来年1月14日(水)の賀詞交歓会(八仙閣本店)と令和9年度定期総会(4月15日・WITH THE STYLE FUKUOKA)の開催決定が報告されました。

経営部会からは、11月19日(木)に滋賀県方面(竹中製作所・八代製作所)への工場視察研修を実施する計画が発表されました。

生産部会からは、各種セミナーの順調な推移と、秋のHPリニューアルに合わせたWeb申し込み機能の導入が報告されました。

企画推進委員会からは、10月の出張セミナー(宮崎・長崎)や、9月4日(木)・5日(金)の千葉県企業への視察研修の進捗状況が共有されました。

また、30周年記念事業については、市内ホテルの比較検討や分科会の設置など、本格始動に向けた準備を進めていくことが決定いたしました。

今後も各部会が連携し、会員皆様の事業に役立つ活動の充実に努めてまいります。

板金図面検定前講習を実施いたしました

令和8年7月16日(木)と17日(金)の2日間で、板金図面検定前講習会を実施いたしました。参加者は、現地受講が12社18名、Google Meetによるリモート受講が9社21名の合計39名でした。この講習会では、9月19日(土)に実施される試験に向けて、図面に関する基礎知識を交えながら、合格するためのポイントを学びました。

テキストは「板金図面の読み方・書き方」「板金材料読本」「箱物展開」の3冊を使用し、この他にJISハンドブックから試験に出そうな内容を抜粋したものや、実技用の計算問題・展開図用の例題など、豊富な資料を駆使しながら、2日間という限られた時間の中で着実に理解を深めました。

休憩時間や講習終了後も講師へ積極的に質問をする受講者もあり、参加された皆様の真剣なまなざしと熱意が強く感じられる2日間となりました。



講習会の様子



集中して作図している様子

板金“ほ・へ・と”研修会(板金加工概論)実施

板金“ほ・へ・と”研修会(板金加工概論)が6月25日(木)、26日(金)の2日間、9社21名にて実施いたしました。昨年と同様に、板金加工の基礎知識と主要な加工方法を習得することを目的としています。受講対象は新入社員や他業種から転職された中途社員となります。内容は下記資料の通りです(要約)。

① 1日目

◆ 板金加工とは	板金加工の流れ等
◆ 板金で使われる材料	材料記号、大きさ、管理
◆ 展開工程について	読図、展開・NCプログラムについて
◆ シャーリング加工	ビデオ鑑賞、圧力計算法、作業のポイント
◆ パンチング加工	ビデオ鑑賞、加工の原理、作業のポイント
◆ レーザー加工	ビデオ鑑賞、加工に関する知識、作業のポイント、注意点
◆ 曲げ加工	ビデオ鑑賞、加工に関する知識、作業のポイント、注意点

② 2日目

◆ DVD鑑賞	精密板金加工`基礎編、約27分
◆ タップ加工	タップ加工について
◆ 溶接加工	ビデオ鑑賞、溶接法の分類、各種溶接法について
◆ その他の加工機械	
◆ バリ取り・仕上げ方法	
◆ 検査・測定・工具類	
◆ 板金3大材料について	
◆ 質疑応答	



熱心に伝える嶋講師



集中して研修を受けている様子

図面から板金の未来を描こう!

板金図面の読み方・書き方

板金加工は、ものづくりを支える重要な技術であり、私たちの生活に欠かせない製品の多くに活用されています。

九州シートメタル工業会では、地域のものづくりをさらに盛り上げるため、会員企業以外の皆さまにもご参加いただける研修を延岡市と長崎市で開催します。

基礎知識の習得や従業員教育に最適な内容です。ぜひこの機会にご参加ください。



宮崎会場

2026年 **10/20** 火・**21** 水

9:00~17:00

会場

INOBECH協同組合
組合会館2階 会議室

〒882-0024
宮崎県延岡市大武町39-1
TEL:0982-35-6366

申込締切

2026年 **9月30日** (水)

参加費

会員:お1人様 8,000円(税込)
非会員:お1人様 10,000円(税込)

ご持参いただくもの

筆記用具・定規・電卓(プログラム機能がないもの)

主催/お問い合わせ先

九州シートメタル工業会 事務局(株)アマダ九州営業所内)
西岡・川合 TEL:092-580-8575

長崎会場

2026年 **10/28** 水・**29** 木

9:00~17:00

会場

長崎県勤労福祉会館
多目的室

〒850-0031
長崎県長崎市桜町9-6
TEL:095-821-1456

対象者

九州シートメタル工業会会員・
一般企業の方

カリキュラム・受講のお申し込みは裏面へ▶▶▶

TOPICS

トピックス

若手経営者向けトークセッション

令和8年7月16日(木)、株式会社アマダAGICカンファレンスルームにおいて、全国シートメタル工業会の若手経営者会員を対象としたトークセッション『"幸福の循環"をマジメが創る』～成果と笑顔が循環するNo.1パートナーへ～が開催されました。

今回は全国から15名の若手経営者が参加し、有限会社ホリエ代表取締役社長の渡部佑磨氏(愛媛県シートメタル工業会幹事)を講師に迎え、組織づくりと人材育成について学びました。

本トークセッションは、講演とグループディスカッションで構成されました。

渡部社長の講演では、会社の利益だけを追求するのではなく、「社員・お客様・会社がともに幸せになる"幸福の循環"」を実現するための取り組みについて、多くの事例を交えながらお話しいただきました。社員が働きやすい環境づくりや、仕事へのやりがいを高める工夫、経営者としての考え方など、実践的な内容ばかりで、多くの気づきが得られました。

その後のグループディスカッションでは、5名ずつ3グループに分かれ、『量産品に対する付加価値の付け方』『製造DX』をテーマに、自社の取り組みと考え方について話し合いました。その後、グループごとにプレゼンテーションを行うかたちで進められました。



講演中の渡部社長



講演会の様子



懇親会の様子

本トークセッションを通じて、「人を大切にする経営」が企業の成長につながることを改めて実感しました。また、懇親会でも同じ志を持つ若手経営者との交流により、新たな学びと人脈づくりにつながり、大変有意義な時間となりました。

今後も、このような研修や交流の機会を積極的に活用し、学んだことを自社の経営に生かしていきたいと思います。

〈企画推進委員会委員長 (株)三藤製作所 藤 雄一郎〉



～孤独じゃないグルメ～



私の趣味は、おいしいご飯を食べることです。

新しいお店を探したり、評判のお店へ足を運んだり、美味しいと聞けば少し遠くても行ってみたいします。九州は食の宝庫と言われるだけあって、魅力的なお店がたくさんあり、私自身も食べることを楽しみに日々頑張って仕事をしています。

もちろん、おいしい料理に出会えた時は嬉しいものです。しかし、年齢を重ねるにつれて感じるようになったことがあります。

それは、「何を食べるかよりも、誰と食べるかが大事だ」ということです。

どんなに高級な料理でも、一人で食べるより、気の合う仲間や家族と食べた方が何倍もおいしく感じます。もちろん、特別豪華でなくても、楽しい会話があれば、それだけで忘れられない食事になります。

仕事をしていると、多くの方と食事をご一緒する機会があります。取引先の方、同業の方々、友人、地域の皆様、そして会社の仲間たち。食事の席では、仕事の話だけではなく、それぞれの考え方や人生経験、時には家族の話なども聞くことができます。

そうした時間の中で、人との距離は少しずつ近づき、信頼関係が生まれていきます。食事には、人と人をつなぐ不思議な力があるように思います。

振り返ってみると、思い出に残っているのは料理の名前ではなく、その時に一緒にいた人たちの笑顔や会話です。「あの時みんなで大笑いした」「久しぶりに会えて嬉しかった」「あの話は勉強になった」そんな記憶の方が、ずっと鮮明に残っています。

ものづくりは一人では成り立ちません。仲間がいて、お客様がいて、協力会社の皆様がいて初めて成り立ちます。人とのつながりがあってこそ、良い仕事ができるのだと思います。

だからこそ私は、食事の時間を大切にしています。ただ料理を味わうだけでなく、その場を共にする人との時間を楽しみたいと思っています。

これからも美味しい料理との出会いを楽しみなが

ら、人とのご縁を大切にしていきたいと思います。そして皆さんも、ぜひ大切な人と食卓を囲む時間を楽しんでいただければと思います。

日本人には、食事の始まりと終わりに手を合わせる習慣があります。「いただきます」と「ごちそうさまでした」この二つの言葉には、食べ物への感謝だけでなく、ともに食卓を囲んだ人への感謝も込められているように思います。その気持ちを忘れずに、これから人とのご縁を大切にしていきたいと思います。

きっと、その時間こそが何よりのごちそうなのではないでしょうか。



トルコライス【長崎】



豚骨ラーメン【福岡】



馬刺し【熊本】



チキン南蛮【宮崎】



黒豚しゃぶしゃぶ【鹿児島】



〈企画推進委員会委員長 (株)三藤製作所 藤 雄一郎〉

第66回



企業探訪

JR九州エンジニアリング株式会社

会社概要

社名	JR九州エンジニアリング株式会社
代表者	代表取締役社長 小林 宰
所在地	福岡市博多区冷泉町4番17号(本社)
訪問先	福岡製作所(福岡県古賀市)
TEL	092-235-1230
FAX	092-235-1231

鉄道を支える「総合技術会社」——JR九州エンジニアリング株式会社

九州シートメタル工業会の会員各社を訪問し紹介させていただくシリーズ。

第66回は、福岡市博多区に本社を構えるJR九州エンジニアリング株式会社（以下「JR九州エンジニアリング」）の福岡製作所（福岡県古賀市、青柳工業団地内）を訪問しました。JR九州エンジニアリングは鉄道車両・機械設備の保守を基盤に、鉄道車両の改造設計・製作、特殊機械の開発、建築設備工事までを担う総合技術会社です。1971年に創業し、2018年に現在の社名となりました。今回は福岡製作所を訪ね、これまで培われた技術がモノづくりに生かされる現場を見学しました。

半世紀の保守技術を、モノづくりへ

2023年11月に開業した福岡製作所では、設計、生産管理、製造、品質保証が連携し、鉄道車両部品やロボットを活用した洗浄装置、試験装置、車輪旋盤などを製作しています。

見学して特に印象に残ったのは、長年の検査・修繕で得た「壊れ方」「使われ方」「直し方」の知見を、設計や改良へ戻している点です。保守とモノづくりがつながり、現場での使いやすさや保守性まで考えた設備づくりにつながっていることを学びました。



工場内で説明を受ける様子

「交換する前に直す」——予防保全を支える技能

最初に案内いただいたのは、管理棟3階の電子基板検査・修繕室です。顕微鏡で状態を確認し、はんだ付けで不具合箇所を修繕する作業を見学しました。基板を一式交換するのではなく、劣化の兆候を見極めて必要な箇所に手を入れ、設備を長く使う考え方です。修繕で得た知見を次の設計や改良へ生かす姿勢は、板金加工の現場にも通じる学びだと感じました。週末には子ども向け工場見学も予定されており、技術を伝える取り組みも印象に残りました。



製作品の仕上げ・研磨工程

製造の現場から——現場の困りごとを形にする

工場内では、車輪削正装置、回転式の作業機、車両用ステンレス部材などを見学しました。レーザー、曲げ、溶接、組立、仕上げまでを一貫で行います。製造については、自社で製作するメリットと、納期やコスト含めて外注と比較しながら判断しているとのことで、考える視点が勉強になりました。

車輪旋盤に見る、顧客に合わせる開発力

見学を中心となったのが、鉄道用輪軸の車輪踏面とフランジを削正する車輪旋盤です。鉄道車両の車輪は、走行を重ねることでレールとの接触面が摩耗し、形状が変化します。その形状を正しく整えることは、安全・安定走行、乗り心地、騒音低減に直結する重要な仕事との説明を受けました。

同社は、高機能な床上式車輪旋盤に加え、導入コストと工期を抑えた「床置きピットレス車輪旋盤 PL-II」を2026年2月に完成。

中小規模の鉄道事業者にも提案しやすい装置として開発されたとのことでした。

必要な性能を確保しつつ、予算、設置条件、運用方法に合わせて仕様を組み立てる。現場の声から過不足のない設備へ落とし込む考え方は、板金加工でお客様の要望を形にする仕事にも重なり、勉強になりました。



曲げ・研磨加工された車両用ステンレス部材



会議室でお話を伺いました

品質と生産管理——装置メーカー化を支える基盤づくり

福岡製作所では、工程負荷と進捗の見える化など、生産管理を強化しています。属人化の脱却を見据え、図面・仕様・工程・検査方法も標準化。2025年11月にはISO9001認証を取得し、出荷前検査と品質記録を積み重ねているとのことでした。鉄道以外への展開も進めており、品質と生産の基盤を整えてから事業を広げる考え方が勉強になりました。

見学を終えて

今回の見学では、保守の知見を設計へ戻し、現場の困りごとを製品へつなげる流れを学びました。特に、①現場の声を設計へ戻す、②自社製作と外注を使い分ける、③標準化と検査体制を整える、の3点が印象に残りました。自社のモノづくりにも生かしていきたいと思います。

長年培った「つくる・守る・支える」技術を新たな分野へ広げる同社の今後を、同じ九州で製造業に携わる一人として楽しみにしています。

JR九州エンジニアリング株式会社の皆さま、貴重な見学の機会をいただき、誠にありがとうございました。



集合写真 左端が原田BPチームリーダー、右端が三好執行役員

〈三和金属(株) 大和 俊太郎〉



サハラ砂漠

果てしなく広がるサハラ砂漠は、時と共に色彩を変える地球の芸術です。

昼の金色から夕暮れの茜色へと移ろう中、人工物が一切存在しない、どこまでも「何も無い」という圧倒的な空白。

その究極の引き算だからこそ、自然の色彩が純粋に際立ちます。

また、非常に細かな砂はどれだけ歩いても一切の音を立てず、あたりは静寂のまま。この五感を研ぎ澄ます静寂と、千変万化する色彩が織りなす唯一無二の聖地です。

何でもある日本から来て、何にも無い「砂漠へ行きます」と言うと入国審査では苦笑されましたが。

〈(株)平山プレス工業所 平山 洋介〉

編集後記

今年3月より八祥産業(株)の代表取締役役に就任いたしました原田と申します。

4月の定期総会におきましては、前社長であり私の父でもある原田龍太郎のために、温かく黙祷を捧げていただきましたこと、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

父は初代企画推進委員会のメンバーとして、安永会長をはじめとする諸先輩方とともに、企画推進委員会の基盤づくりに尽力したと伺っております。

私自身も現在、企画推進委員会に所属していることから、ふとその“歴史”を自分の目で確かめてみたいくなり、本会報誌の創刊号から最新号まで読み返してみました。

すると、20年以上前の誌面にも「材料費の高騰」「慢性的な人材不足」「ITの急速な進化」といった、現代と変わらぬ課題が綴られており、大変興味深く感じました。

中東情勢をはじめとする世界情勢の不安定化など、どうしても現代が最も厳しい時代であるように感じてしまいます。しかし、過去の誌面を読み返してみると、それぞれの時代を生きた先輩方も同じように「今が最も厳しい時代だ」と記事を書かれていました。課題の形は時代ごとにも変わっても、その本質は驚くほど変わらない。その繰り返しの中で、時代は少しずつ前へ進んでいると感じました。

なお、創刊号から現在までのバックナンバーは九州シートメタル工業会のホームページでご覧いただけます。ぜひ一度、お時間のある際にご覧ください。

〈八祥産業(株) 原田 直輝〉



九州シートメタル工業会 今後の予定

日程	予定	開催場所	日程	予定	開催場所
2026/10/14(水)	板金いろは研修会	(株)アマダ九州営業所	2026/12/3(木)	プレス金型取付調整特別教育講座	(株)アマダ九州営業所
2026/10/16(金)	パワーアップ研修会	(株)アマダ九州営業所	2026/12/15(火)	問題解決(不良削減)	(株)アマダ九州営業所
2026/10/20(火) 21(水)	宮崎県出張セミナー(板金図面の読み方・書き方)	INOBECH協同組合組合会館	2027/1/20(水) 21(木)	TIG溶接セミナー(ステンレス)	ポリテクセンター福岡
2026/10/27(火)	女性セミナー(パートⅡ)	(株)アマダ九州営業所	2027/2/9(火) 10(水)	プレスブレーキ初級セミナー	(株)アマダ九州営業所
2026/10/28(水) 29(木)	長崎県出張セミナー(板金図面の読み方・書き方)	長崎県勤労福祉会館	2027/2/16(火)	板金いろは研修会	(株)アマダ九州営業所
2026/11/4(水)	問題解決(不良削減)	(株)アマダ九州営業所	2027/2(未定)	板金技能検定学科・特級実技試験	県指定会場
2026/11/11(水)	パワーアップ研修会	(株)アマダ九州営業所	2027/2(未定)	板金技能検定実技試験	(株)アマダ九州営業所

九州シートメタル工業会 ホームページ

<http://www.kyushu-sma.gr.jp>

ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡ください。



九州シートメタル工業会 会報

SHEET METAL 九州

No.76〈2026 秋号〉

発行日 令和8年9月25日
発行 九州シートメタル工業会
事務局 株式会社アマダ 九州営業所
〒816-0912
福岡県大野城市御笠川1-9-4
TEL 092-580-8570